

療養状況申立書

傷病手当金の申請にあたり、下記のとおり療養状況等を申し立てます。

令和 年 月 日

被保険者名 _____ ㊞

1. 在宅・宿泊療養期間
2. 医療機関から労務不能の証明を受けられない理由
3. 症状の経過（発症から労務できなかつた期間の症状や体温などをできるだけ詳しく、また、PCR検査等を行った場合はその結果を記入してください。）
4. 保健所からの指示内容等（できるだけ詳しく、また、時系列が分かるよう記入してください。）

※保健所からの就業制限解除通知等の写しを添付してください。

記入例

療養状況申立書

傷病手当金の申請にあたり、下記のとおり療養状況等を申し立てます。

令和 4 年 2 月 2 日

被保険者名 広城 太郎



1. 在宅・宿泊療養期間

令和3年11月9日から令和3年11月22日まで

2. 医療機関から労務不能の証明を受けられない理由

〇〇病院を受診したが、入院ではなく宿泊療養だったので〇〇病院では証明できないと言われたため。

3. 症状の経過（発症から労務できなかつた期間の症状や体温などをできるだけ詳しく、また、PCR検査等を行った場合はその結果を記入してください。）

11月7日に発熱(37.7℃)、11月8日も熱が下がらずに(37.9℃)〇〇病院を受診し、PCR検査で陽性だった。

11月8日の午後4時頃、〇〇保健所から11月9日から△△で宿泊療養の指示があった。

11月9日から11日まで高熱(37.7～38.6℃)が続き、酸素飽和度が少し低下していた。

11月12日から15日まで微熱(37.1～37.4℃)が続いたが、酸素飽和度は安定していた。

11月16日から平熱に戻り、酸素飽和度も安定していた。

11月22日に午後1時に退所し、午後2時に帰宅した。

4. 保健所からの指示内容等（できるだけ詳しく、また、時系列が分かるよう記入してください。）

11月8日の午後4時頃、〇〇保健所から11月9日から22日まで△△で宿泊療養の指示。

11月21日の午前中に、22日で隔離期間が終了し、帰宅できるとの連絡があった。

11月22日午後3時頃、保健所から一週間程度は朝晩に検温するよう指示があった。その際、いつから仕事に復帰していいか尋ねたところ、本日で隔離期間が解除されたので明日から復帰できるが、勤務先と相談してはどうかとのことだった。

※保健所からの就業制限解除通知等の写しを添付してください。